

2016年6月30日

デフォルト率・格付推移行列の年次更新

格付投資情報センター（R&I）は、2015年度の格付とデフォルトのデータを追加して、日本企業のデフォルト率・格付推移行列（デフォルト実績関連データ）を更新しました。

デフォルト率の調査対象は、1978年度から2015年度当初までにR&Iが信用格付を付与したことがある1499社です。R&Iは、1997年以来このような報告を毎年実施しており、今回が20回目の年次報告となります。本年度の主な調査結果は以下の通りです。

- 15年度のデフォルト件数は第一中央汽船の法的破綻とシャープの金融支援の要請及び実施（条件変更）の2件。第一中央汽船に格付が付与されていたのは28年前のため、近年の格付別デフォルト率に算入されるのはシャープのデフォルト1件である。その結果、15年度初のデフォルト率集計対象企業607社に関して、年間デフォルト率は0.16%となった。10年度以降5年連続で年間デフォルト率は0%であり、6年ぶりに年間デフォルト率がプラスとなった。
- 信用格付とデフォルトの関係について、高い信用格付ほどデフォルト率が低く、低い信用格付ほどデフォルト率が高いという関係は引き続き保たれている。
- 15年度の格付ゾーン間の信用格付推移を見ると、格上げ推移件数と格下げ推移件数の合計は13件。格付推移の集計対象企業数に対する推移件数の割合は2.2%となり、過去最低の水準である。格付の動きが総じて少ない中で、11年度以降、4年連続して減少基調であった格下げ推移件数が15年度は増加に転じているという変化があった。

本調査結果の詳細はR&Iのホームページ（<http://www.r-i.co.jp/jpn/cfp/data/index.html#news-02>）にてご覧いただけます。

お問い合わせ先
格付企画調査本部 田中 (03-3276-3512)

■お問い合わせ先 : インベスターズ・サービス管理部 TEL. 03-3276-3511 E-mail. infodept@r-i.co.jp
■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室(広報担当) TEL. 03-3276-3438

株式会社格付投資情報センター 〒103-0027東京都中央区日本橋1-4-1 日本橋一丁目三井ビルディング <http://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<http://www.r-i.co.jp/jpn/policy/policy.html> をご覧ください。